

本校は、清水駅の北西に位置する全校児童276名の小学校です。学校教育目標「自律・敬愛」のもと、重点目標を「じまんをつくるう」とし、子どもの心に確かな自信をつくりあげるための教育活動に取り組んでいます。また、コミュニティ・スクールを目指した取組も行われており、さまざまな場面で地域の方による教育支援が行われ、子どもの成長を見守り、支えてくれています。



子どもたちは素直で優しく、何事にも一生懸命取り組みが多いです。一日の欠席者が少ないことから、子どもの気持ちもちが学校に向いているこ

とがうかがえます。その一方で、自分に自信がもてないことや、人との関わりで不安をもっていることなど、気になる課題もありです。

保健室は1階の静かで落ち着いた場所にあり、ベッドが格納式のため、ベッドを使用しているときは、自分

を求めている状態にあり、一人ひとりの子どもに寄り添った丁寧な対応の必要性を感じています。



静岡市立清水辻小学校

養護教諭 浦山 恭子

あてをもつて健康づくりができる子」という学校保健目標に向けて、自分で生活の仕方のめあてを考えて実践する「早寝早起き、朝ごはん週間」を設け、1週間の健康生活チェックを行います。実施に当たっては、子どもと一緒に生活習慣を振

り返り、健康について話し合う機会となるよう、協力をお願いする文書を保護者に配付しました。ほぼ毎日、全員が朝食を食べて登校してきていることや実施後にコメントを書いてくださる方がいることに、保護者の支援の大きさ、意識の高まり

がうかがえました。「早寝」については課題が残りますが、実践してみたことから問題点に気づき、改善するための工夫を考えている子も見られ、長年取り組んでいる成果を感じました。



ミニユニティ・スクールや小中一貫を視野に入れた取組も始まりました。小学校の中だけではなく、家庭や地域、中学校区の学校との繋がりが強くなる中で、養護教諭として子どもたちの健康のために何ができるのかを考え、健康教育を進めていきたいと思っています。



今年度は、スライドを用いて「噛むことの大切さ」について、養護教諭から話をしました。給食後には学校全体で歯みがきの時間を確保しています。歯みがきの習慣を身に付けるために、保健専門委員会を中心に、呼びかけやチェック活動を行います。給食後の歯みがき



静岡市立末広中学校

養護教諭 浦田 愛里

年4月の全校集会の中で、歯科指導の時間を設けて、歯に関する指導を行っています。歯科衛生士さんを講師に呼び、講話を聞いたり、保健専門委員会の生徒が発表したりと年度によって内容は様々ですが、歯の大切さを子どもたちに伝える良い機会となっています。

実施率100%を目指しています。また今年度から、家庭学習帳の様式を変更し、生活習慣を整えることができるよう働きかけていきたいと思っています。校区の養護教諭で各校の健康課題を話し合う中でも、家庭における夜の生活の「計画」を書き、翌日の朝の会で「結果」を書く

ことで、生徒たちが夜の時間帯を自覚的・計画的に過ごすことができるようになることを狙っています。保健室に入室する生徒の中には、朝食欠食や睡眠不足、メディアの長時間使用などの生活習慣の乱れから体調不良を訴える子が多いように感じます。生活習慣を整え

人間関係の悩みを抱える来室する子、LINEやツイッター等のSNS上でトラブルの悩みを抱えて来室する子、家庭環境や成育歴から心の居場所を求めて来室する子など、保健室には様々な悩みを抱えた子が来室します。その中で、養護教諭として何をしなければならぬのか、何をすべきなのか模索しています。保健室の機能を十分に発揮できるよう、学校内外と連携しながら、子どもたちの幸せのために支援していきたいと思っています。



げんきな事業所

静岡県立静岡がんセンター

(駿東郡長泉町下長窪一〇〇七番地)

静岡県立静岡がんセンター（以下、「当センター」）は、がんの患者さんが急増する「がんの時代」の訪れを見据え、①患者に尽くす世界一のがんセンター病院、②県のがん対策の拠点、③地域の健康産業活性化の3点を使命として、静岡県が整備し、平成14年に開院しました。

患者家族宿泊施設等があります。

当センターは診療を開始して以来15年間、「患者さんの視点を重視する」がん医療の提供を基本理念とし、医師、看護師だけでなく、多職種が医療チームを組んで、患者さんご家族を徹底支援する最善のがん医療の提供に努めております。

また、「がんを上手に治す」、「患者さんと家族を徹底支援する」、「職員が成長と進化を継続する」の3つを患者さんとそのご家族への約束として医療に取り組んでおります。

健康診断や血液検査を実施しております。病院はインフルエンザ等の感染症に罹患した患者さんと接触する機会が多いため、全職員及び院内に常駐する委託業者（清掃業者等）職員を対象に、各種感染症（麻疹、風疹、水痘、ムンプス、B型肝炎、インフルエンザ）の罹患を予防するため、ワクチン接種を実施しています。

当センターは、職員が健康で安心して働ける勤務環境の下、今後も高度ながん専門病院として、患者さんの視点を重視し、最善の医療の提供に取り組んでいきます。

富士山を望む駿東郡長泉町下長窪に位置し、病床数は615床。主な施設として病院本棟、緩和ケア病棟、陽子線治療施設、放射線治療棟、研究所、管理棟、職員宿舎、院内保育所、小児

に治す」、「患者さんと家族を徹底支援する」、「職員が成長と進化を継続する」の3つを患者さんとそのご家族への約束として医療に取り組んでおります。

また、「がんを上手に治す」、「患者さんと家族を徹底支援する」、「職員が成長と進化を継続する」の3つを患者さんとそのご家族への約束として医療に取り組んでおります。

身体健康管理のほか、こころの健康についても、平成28年度から法定化された全職員

に対するストレスチェックや希望者に対する産業医の個別面談を院内で実施しており、加えて院外で、職場や立場を気にすることなく利用できるカウンセリング体制（電話・面談）も整えています。



SCCと富士山



入口からの建物外観



航空写真



柿田川ホール